

# 福寿草の会 だより



急な梅雨明け、猛暑と、身体にはつらい日々ですね。やはり熱中症は怖いです。他人事と思わず、室内にいても、水分を取り、冷房も適宜使って、過酷な夏をのりきりましょう。

認知症の介護体験記「彼のスイッチ」(館野雅子著)に、すみれ会(厚木市認知症介護者の会)の皆様から、もっとお話を聞かせてほしい、とのお声がかかり、館野さんが、すみれ会の定例会に参加されました。その時の感想を寄せてもらいました。

近隣の家族会の輪が広がり、つながっていることを実感できるでき事でした。

福寿草の会  
愛川町介護者の会  
第146号  
平成30年7月4日  
連絡先 愛川町社会福祉協議会  
Tel 046(285)2111

7月のつどいは  
17日(火)午後 1:30~  
3:00

福祉センター3階会議室

<内容> 話し合い・情報交換

初めての方、会員でない方でも歓迎です。介護にお悩みの方ぜひご参加下さい。

## 悲しいお知らせ

深澤倭文子様が介護されていたご主人 越洋様が6月16日ご逝去されました。83歳でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

## 4つの家族会交流会

7月9日(月) 10:30~14:30

アミューあつき6階602・603会議室

厚木市すみれ会の主催

午前の部 各会の現状報告

グループ毎の話し合い

午後の部

DVD鑑賞「認知症と向き合う」

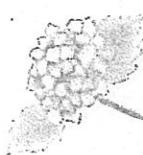
グループでの話し合い

▶昼食は会で用意します(一部自己負担有)

▶申し込みは済んでいますが、変更がありますなら、TEL下さい(小沼 285-4166)

▶皆で一緒に行きますので、当日(9日)  
午前9時30分までに、愛川町福祉センター前に集合して下さい。

## 5月のつどいは 総会でした



5月15日、会員22名中、17名の出席。  
役場より小野澤高齢介護課長、社協より  
関根事務局長が参加して下さいました。  
課長より、町では毎年0.9ポイントずつ高齢化率が上昇し、今年は28.4%、3人に1人が65歳以上とのことです。認知症支援に力を入れ、認知症予防フェとの協同事業を行うこと、また在宅死について検討していくことでした。  
社協事務局長からは、「彼のスイッチ」(福寿草の会により、特別号)を読み、介護者のご苦労が身にしました。これからも、地域社会への啓発活動とともに、皆様自身の楽しみや、健康も

大切にしていたい、とのお話でした。  
議事については、全て承認され、役員も続投ということになりました。よろしくお願いいたします。

その後の話し合いの中で“在宅死”ということが話題となりました。

まずは往診医、そして訪問看護の充実か次かせません。また、医療と介護の連携は? 介護保険の変更点は?

10年前、在宅で父母を看取りましたが、現在は施設での看取りも含め、増えているとは思いますが、もっともっと、知り、勉強して行く必要がありますね。(9月定例会で出前講座を予定しています)

後日、社協より3万円の助成金をいたしました。有効に使わせていただきます。

## すみれ会の定例会に参加して



館野雅子

「彼のスイッチ」この冊子が思いがけず大きな反響を呼び、それを機に、5月21日の定例会に参加させていただきました。

こんな私の話を皆さん真剣に聞いて下さり、挙手・発言も活発で驚きました。同時に、認知症に対する関心は非常に高く、ましてや現役の介護者にとっては、身につまされるものがあったのかもしれません。

一人の女性が、介護の辛さが噴き出したかのように泣きだされ、私は胸をえぐられる思いでした。

しかし、会は、全般的にとても明るい、そして和やかな雰囲気でした。私にとっては、大変有意義な時間となりました。

また、福寿草の会会員大貫さんが同行して下さり、心強く、ありのままの私でいられてよかったです。おかげさまでやっと永かった私の心の梅雨が明けました。